

図1 神奈川県とその周辺地域の地震活動（9月分）  
 （震源決定は、当所データの他に東京大学地震研究所、防災科学技術研究所の地震波形データを利用しています。）

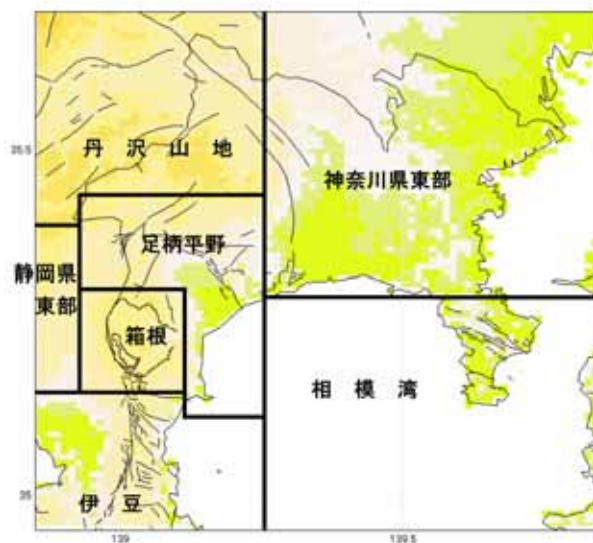


図2 表1に対応する地域区

#### 4. 10月1日箱根町湯本付近に発生した地震について

10月1日午前2時21分ごろ、箱根付近においてM4.9(気象庁)の地震が発生した。最大震度は、箱根町湯本で震度5強であった。また、10月2日08時39分にも同地域でM2.4(気象庁)の地震が発生し、箱根町湯本で震度1を記録しました。

##### 1) 地震活動

温地研の解析結果では本震のマグニチュード(M)は4.8、震源の深さ12.4kmとなっている。余震活動については、本震直後は活発であったが、2時間程度で活動は低下している(図3)。

地震波走時の観測点補正を行い、比較的近傍の観測点のデータのみを使用して、本震及び余震の震源の再計算を行った。その結果、本震の震源は深さ13.1km、マグニチュードは4.6となった。余震の震源分布は水平に近いように見える(図4)。

当所の連続記録の目視による地震の頻度分布を図3に、温地研で決定した地震の震源分布及び本震のメカニズム解、深さとマグニチュードの時間変化を図4に示す。

なお、今回の震源付近では1990年8月5日にM5.3(気象庁)の地震が発生している。

##### 2) 地殻変動

当所が箱根火山及び県西部地域で実施している傾斜観測、光波測量、GPS測量、地下水位観測では、これまでのところ特段明瞭な地殻変動は観測されていない。なお、傾斜観測、地下水位観測では地震発生直後の変化(コサイスマック変化)が観測されている。

##### 3) 現地調査等による観測情報

最大震度5強が観測されたこともあり、当所の職員による現地調査を実施した。箱根町湯本や大涌谷で調査を行ったが、温泉温度や噴気などには特段の異常は認められなかった。また、温泉温度の測定を依頼している源泉所有者に問い合わせたところ、特に変化は観測されていないとのことであった。

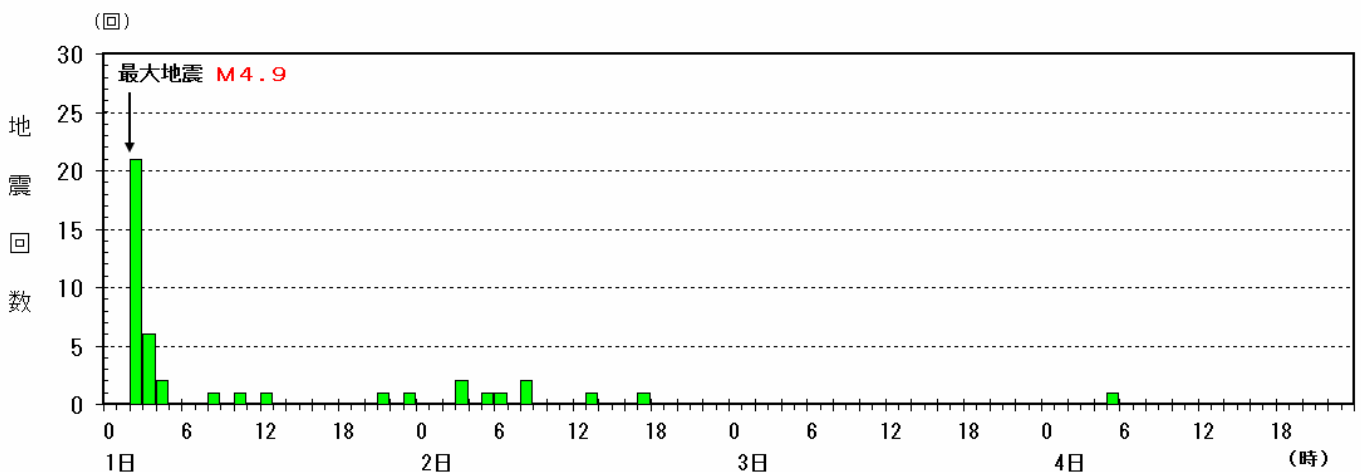


図3 1時間毎の頻度分布(10月1日~10月4日)

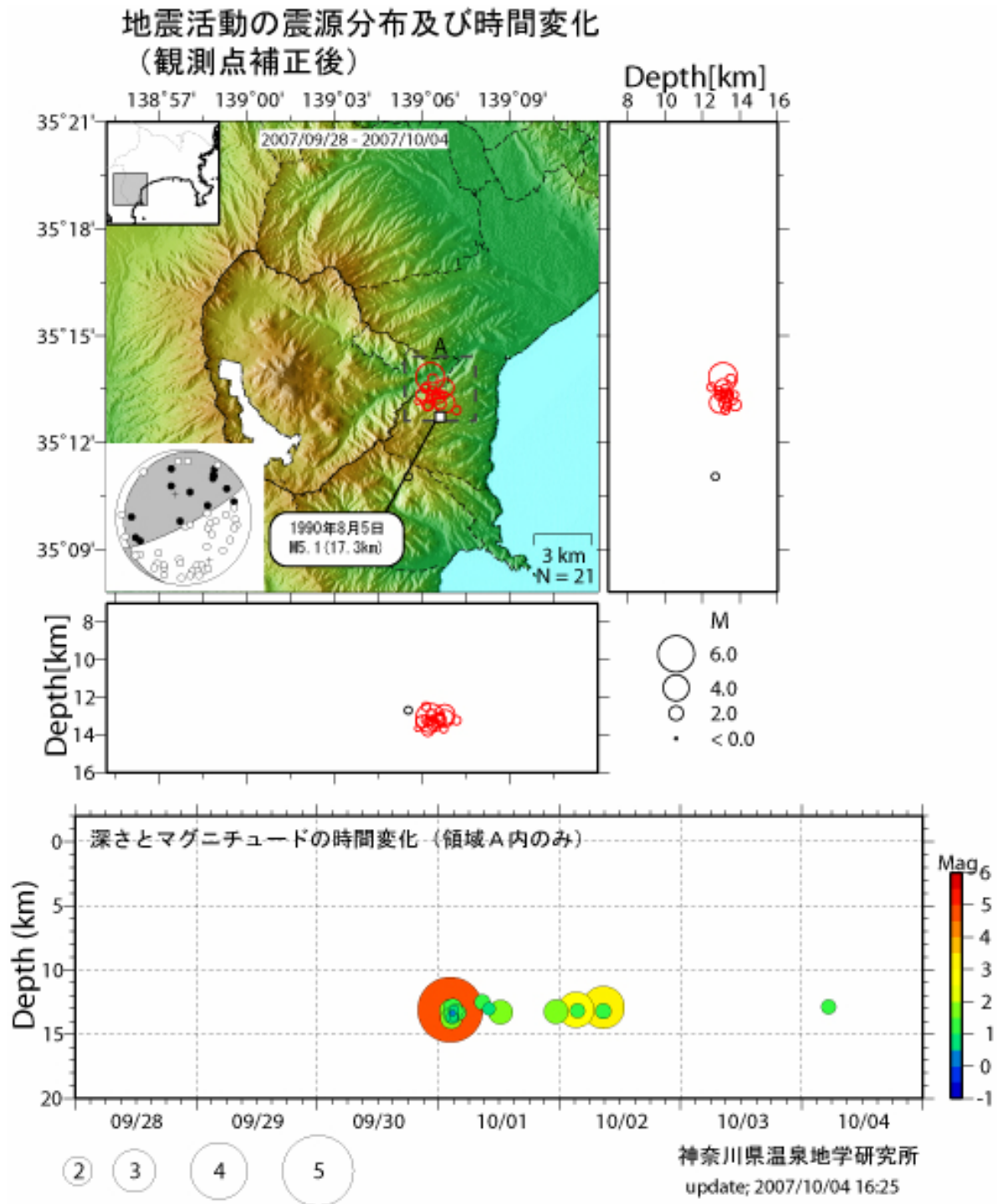


図4 温地研で決定した地震の震源分布及び本震のメカニズム解、深さとマグニチュードの時間変化